島根県看護協会情報誌

あかね雲

2020.03.25
NO.169

CONTENTS

◆理事会報告……P1
◆協会のうごき……P1
◆島根における
看護師基礎教育を考える会……P2
◆支部活動……P3.P4
◆委員会活動……P4～P5
◆認定看護管理者教育課程
ファーストレベル修了……P5
◆男性看護師委員会 活動報告……P6
◆緩和ケア推進委員会 活動報告……P6
◆ナースセンターだより……P7.8
◆研修受講料の改定および
研修申込締切日変更についてお知らせ…P9

津和野町 / 太皷谷稲成神社

湧水

「離島・へき地医療における看護部の取り組み」

隠岐島前病院　看護部長　家中　ふみ代

当院は離島という環境にあり、コミュニティが限られている為入院から退院、退院後訪問、外来看護、訪問看護、在宅医療を一貫して総合的に実践する地域医療を展開しています。

この為、急性期から慢性期までの内科的、外科的、小児科、精神科の疾患などに対応し、それに伴う救急対応も余儀なくされ「柔軟性、判断力、行動力」が看護師に求められる為そのスキルは多岐にわたります。

自分達が行った医療、看護の結果がすぐに見えるため、厳しさも含めてやりがいを感じる事の出来る環境にあります。

看護部では「われこそは地域医療、在宅医療の第一線」と自覚し、常に患者さんの在宅生活を意識しながら「目配り、気配り、心配り」をモットーに地域住民に寄り添う医療、看護にこれからも取り組んでいきたいと思います。

公益社団法人 島根県看護協会

理事会報告

◆第6回理事会

【協議事項】

1　令和２年度重点政策･重点事業について
2　令和元年度事業報告
3　令和２年度委員会について
4　両親学級の運営について
5　令和２年度事業計画(案)
6　令和２年度教育計画(案)
7　令和2年度
　「看護の日」記念のつどい･Nursing Nowキャンペーン事業(案)
8　令和2年度公益社団法人島根県看護協会通常総会(案)
9　委員会等の研修会受講料の改定(案)
10　令和2年度公益社団法人島根県看護協会見込み会員数(案)
11　令和2年度公益社団法人島根県看護協会職員の給与改定(案)

【報告事項】

1　JNAラダー交流会
2　看護師基礎教育を考える会(岡山県)
3　公益社団法人島根県看護協会のうごき
4　事務局人事について
5　令和元年度職能委員会･支部活動報告について
6　支部会計令和元年度決算について
7　令和2年度公益社団法人島根県看護協会会議等行事予定

◆第7回理事会

【協議事項】

1　令和2年度重点政策･重点事業(案)
2　令和元年度事業報告(案)
3　令和2年度事業計画(案)
4　令和2年度収支予算書(案)
5　令和2年度
　「看護の日」記念のつどい･Nursing　Nowキャンペーン事業について
6　令和2年度島根県看護協会通常総会(案)について
7　島根県看護協会長表彰の推薦(案)について
8　公益社団法人島根県看護協会定款施行細則の変更
9　公益社団法人島根県看護協会職員就業規則･給与規則の変更(案)
10　公益社団法人島根県看護協会謝金等規則の変更(案)
11　新型コロナウイルス感染症の拡大予防対応について

【報告事項】

1　日本看護協会第6回理事会報告
2　訪問看護連絡協議会全国大会
3　看護師基礎教育を考える会
4　令和元年度島根県看護協会会員数、キャリナース登録数
5　島根県看護協会のうごき

島根県看護協会の動き(令和2年2月)

項目	月　日(曜)	実　施　事　項	出　席　者	場　所
日本看護協会	2月14日(金)	訪問看護連絡協議会全国大会	秦会長	日看協JNAホール
	2月20日(木)	～21日　日看協理事会	秦会長	日看協JNAホール
島根県看護協会	2月 7日(金)	第6回島根県看護協会理事会	秦会長他	看護研修センター
	2月 9日(日)	看護師基礎教育を考える会	秦会長、徳若理事、ナースセンター長、石井、中島	県立大学出雲キャンパス
	2月14日(金)	助産師出向中間反省会	徳若理事	島根県立中央病院
	2月19日(水)	移動ナースバンク	渡部	くにびきメッセ
	2月22日(土)	助産師の活動拡大とキャリアアップ支援	渋川副会長、徳若理事	山口県看護研修会館
	2月25日(火)	助産師出向中間反省会	徳若理事	マザリー産科婦人科医院
	2月26日(水)	助産師出向反省会	徳若理事	益田赤十字病院
島根県	2月 5日(水)	島根県福祉･介護人材確保推進会議	原理事	島根県民会館
	2月 5日(水)	島根県がん診療ネットワーク協議会	秦会長	県立大学出雲キャンパス
	2月12日(水)	島根県地域防災計画に係る説明会	原理事	島根県庁
	2月12日(水)	地域包括ケアシステム関係機関連絡会議	原理事	島根県民会館
	2月13日(木)	島根県国民健康保険運営協議会	徳若理事	島根県民会館
	2月19日(水)	しまね働く女性きらめき応援会議	秦会長	サンラポーむらくも
	2月19日(水)	第2回島根県入退院連携検討委員会	原理事	出雲保健所
	2月12日(水)	松江市社会福祉審議会	徳若理事	松江市役所

Nursing now

看護の力で健康な社会を！

島根における看護師基礎教育を考える会

～看護師基礎教育の充実強化をめざして、看護の未来を創ろう～

専務理事　徳若　光代

看護師基礎教育4年制化の意義を浸透させ、その機運を高める機会として、令和2年2月9日(日)、島根県立大学出雲キャンパス5号館を会場にして、「島根における看護師基礎教育を考える会」を開催いたしました。

島根県看護協会長の開会あいさつでは、看護の未来を創るために教育、医療、行政等で働く看護関係者が一堂に介し「看護師基礎教育について考える会」が開催できたこと、この機会を有意義に活かして看護の未来につなげる取組にしたいとの抱負を述べられました。来賓として、日本看護協会の福井トシ子会長、島根県健康福祉部の吉川敏彦部長、島根県看護連盟の川合政恵会長のご臨席を頂くことができました。

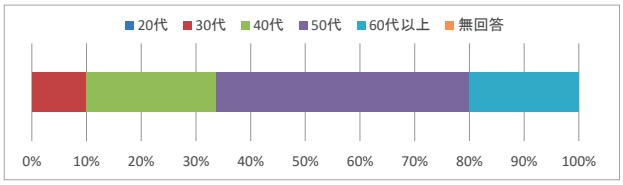
続いて日本看護協会常任理事の岡島さおり氏を講師に迎えて「看護師養成をめぐる現状と課題」と題し、看護師基礎教育を取り巻く社会状況や看護師基礎教育の現状等について、ご講演をいただきました。つづいてのシンポジウムでは、島根県健康福祉部の吉川健康福祉部長、島根県立大学の梶谷みゆき看護栄養学部長、松江赤十字病院の加納さえ子看護部長の3名をシンポジストに迎えて、「島根の看護を支えるために」のテーマで発表を頂きました。その後は会場に参加された皆様から活発な意見が聞かれました。

次年度も引き続き「看護師基礎教育4年制化」の意義を浸透させ、その機運を高めるために継続的な事業展開ができるように努めます。看護関係者の皆様のご支援ご協力をお願いいたします。

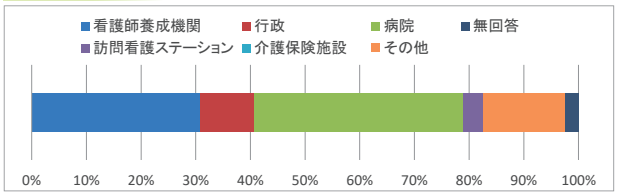
令和元年度 島根県における看護師基礎教育を考える会 参加者アンケート結果

開催日時：令和2年2月9日（日）　13時30分～16時
会　　場：島根県立大学出雲キャンパス
参加者数：一般参加 89名、講師等 8名、役職員 7名、会員 74名、非会員 4名
アンケート回収数：81名　アンケート回収率 91%

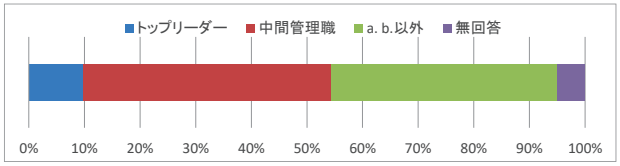
1.年代



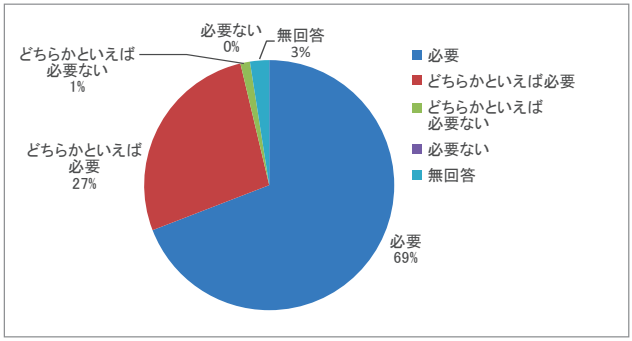
2.所属



3.職位



4.看護師基礎教育の年限延長について



看護師基礎教育の年限延長に関する回答を55名、内訳は必要37、どちらかといえば必要15、どちらかといえば必要ない2、必要ない0、無回答1でした。次に回答の一部を紹介します。

○多職種の教育動向をみても4年制の教育は必要である。
○看護基礎教育の中で、看護実践力や判断力を高めていく必要があり、教育の年限延長が必要と思う。県立大学の基礎教育が4年の方向で検討されていると聞いて頼もしく思った。
○3年課程の専門学校での教育の詰め込みを実感している。自主的な思考力や判断力を身につけるためには4年制しかないと思う。
○学生観の変化により、3年間で今のカリキュラムを学ぶことは難しいと感じている。更に高いものを求められると4年制は必要。
○延長は必要と考えるが、それらに伴う課題解決を見据えながら解決方法も同時に検討していく必要がある。
○臨床現場では新卒者の研修時間延長や研修のあり方を工夫しているが、夜勤の一人立ちも遅くなっている。社会人基礎力が不十分と感じるので、教育年限の延長は必要である。

支部活動

やりがい感じたまちの保健室

松江支部長　南　喜代美

松江支部が企画するまちの保健室には、常設型とイベント型があります。常設型は「ゆうあい熊野館」「夢ランドしらさぎ」の2か所で、利用者数の違いはありますが、常連さんも多くあります。イベント型は、近年島根大学、安来高校の2校で開催してきましたが、行政と連携がとれる活動を目指し今年度は松江市と共創して「松江市健康福祉フェスティバル」への参加が実現しました。初めて来場したという多くの方と出会い、特に骨密度測定への関心は高く、骨粗鬆症予防に向けた指導が効果的に行えました。10月には宍道高校から職場で話題になったまちの保健室を文化祭で開催してほしいと思いがけない連絡を受け、急ピッチで準備を進め開催しました。まちの保健室が様々な人を介して認知されていることを嬉しく思いました。健康に関する知識や関心は今や常識となり、家庭でもヘルスチェックが簡単にできるようになりましたが、出てきた数値をどう見たらよいか分からない人も多いと思います。そんな時こそ専門知識と経験のある看護職にアドバイスを受けたい、気軽に相談したいというニーズに対応できるまちの保健室が地域住民にとって役立つ場として望まれるよう取り組んでいきたいと思います。

宍道高等学校での開催風景

～活動交流会：災害看護研修・イベント型まちの保健室～

出雲支部長　和田　祐子

今年度、出雲支部では「私たちの周りで災害が起こったら」と題し、中央病院救急看護認定看護師の浦部涼子氏を講師に迎えて災害看護研修を開催しました。実際の体験談や災害発生時の看護職の役割について講義を受けた後、地域や病院等各々の現場で起こりうる問題や自分の立場ですべき事をテーマにGWをしました。「想像すると怖くなった、病棟で勉強会をしたい」「在宅医療や訪問看護の方の対応も考える機会になった」「地域で横の繋がりが少ない、訓練が必要」等、活発な意見交換となりました。「出雲は大社さんに守られとるけん大丈夫」というおんぼらとした合言葉で他人事にするのではなく、いつどこで起こるかもしれない自然災害に対しての備えや心構えを共有した事は意識向上に繋がる充実した研修会であったと感じています。

まちの保健室は、地域の健康イベントや学祭等6か所に参加し、計460名の方々に血圧測定や健康相談を行いました。測定値に笑顔になったり悩んだりされる利用者の方の思いを傾聴し、病気の予防や健康維持に関するお話をすることは意義ある活動であると実感しています。今後も専門職として「看護の力で健康な社会を!」に貢献していきたいと思います。

支部活動

まちの保健室と支部研修会

益田支部長　水津　聖子

益田支部では、「まちの保健室」を益田市、津和野町、吉賀町のイベントにあわせて企画しました。血圧測定や健康相談、健康手帳の配布を行いました。益田圏域は広く、各地域の会員の皆様の協力が欠かせません。

また、研修会を3回開催しました。第1回は、6月の総会に合わせて、「災害に対する危機意識と備え」というテーマで、山口大学瀧本浩一先生にご講演いただきました。災害はめったに起らないものではなく、自助が大切で、自分の命が守られなければ誰も助けることはできないということを学び、普段の災害に対する危機管理が出来ていないことを認識しました。第2回は、「アレクサンダーテクニーク～心身の緊張を解放させ上手に使う技術～」と題し、指揮者でボイストレーナーの香西克章先生にご講演いただき、その後実際に横になり心身の緊張を解放させリラックスする方法を学びました。第3回は、「看護職のセルフケア～ストレスへの対処法～」というテーマで、日本産業カウンセラー協会の新井妙子先生にご講演いただきました。カウンセリングマインド、ストレスの対応・考え方を学び、自らの行動を振り返るよい機会になりました。

今後も支部活動を通じ、圏域の看護職の連携が図れるよう努めたいと思います。

委員会活動

役立ち活用される広報誌「あかね雲」を目指して

広報委員会　委員長　錦織　亜紀

広報委員会では広報誌「あかね雲」を年5回発行しています。その内容について今後のあり方を検討するため、昨年11月にアンケートを実施しました。

5年前のアンケートと比較した結果は以下の通りでした。

☆購読については、「読む」「たまに読む」が70％以上を占めており、年代が上がるにつれ読んでいただいている傾向にありました。

☆内容については、概ね良いという評価でした。

☆今後取り上げて欲しい内容は、看護技術・施設紹介・特定行為研修特集でした。（図1）

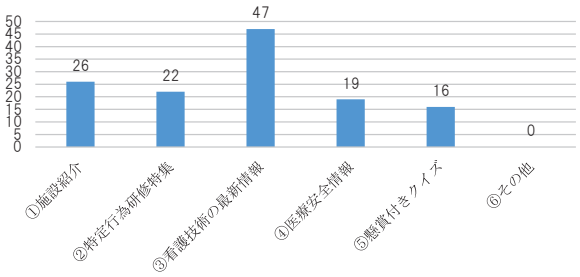
☆配布については、多くが施設の各部署への配布を希望していました。

今後はこのアンケート結果を踏まえた内容を検討し、皆さまの身近に感じられ役立つ広報誌としてお届けしたいと思っています。

また、広報委員会ではあかね雲の発行のほか、学術集会、取材などの活動を行っています。皆様の身近なところで知ってほしいことがあれば、取材にも伺いますので遠慮なく連絡頂ければ嬉しく思います。

アンケートにご協力いただいた皆様ありがとうございました。

図1 今後「あかね雲」に取り上げて欲しい企画



委員会活動

「令和元年度教育事業委員会が目指すもの」

教育事業委員会　委員長　岡安　誠子

教育事業委員会では、看護職の資質向上を図るために年間教育計画を立案し、研修を実施する役割を担い日々活動しております。今年度も年間教育計画に則り、全ての研修を実施致しました。ほぼ全ての研修で参加率が 60%を超え、各研修の満足度や活用性についても高い評価をいただきました。一方で、一定期間継続してきた研修や各施設・機関における教育機会の増加に伴う研修ニーズの充足感などを踏まえ見直しも進めて参りました。

全国に先んじて高齢化が進行する島根県においては、その地域特性も踏まえた研修内容の見直しも常に求められています。また、あらゆる世代の健康維持・増進、治療や療養生活に広く寄与するために、今あるいは今後に渡って看護職に必要となる知識や技術の獲得、多職種連携が進められる中で専門性の発揮の基盤を成す看護観の形成などを目指し、会員の皆様からの声もいただきながら研修を計画・実施していきたいと考えます。

会員の皆様には、日々の実践の中でご自身をはじめ看護職に必要な知識や技術などを発見し、委員会にご意見をお寄せいただき、お一人お一人が島根県の看護力を底上げするための研修計画に参画いただけたらと思います。

認定看護管理者教育課程ファーストレベル修了

専任教員　石井　朋子

今年度から新しいカリキュラムでファーストレベルを開講しました。受講要件が「看護管理に関心がある人」に変更となり、時間数も150時間から105時間と短くなりました。また、新しい教科目として統合演習（15時間）が設けられました。

今年度は50名が受講し、講義やグループワーク・演習や全体発表など様々なプログラムを経て、全員が教育課程を修了しました。令和2年2月22日（土）に修了式を行い、秦島根県看護協会会長が一人一人に修了証を授与しました。

ファーストレベル教育課程を通して学んだこと

松江赤十字病院　金森　翔士

私は今まで管理職というものを意識していませんでした。また病院経営や報酬、社会保障制度などは難しいことのため理解しようとすることを避けていました。しかし、このファーストレベルを受講し組織や人・物・金・情報を動かすための知識や、社会制度、経営など知るうちに、学ぶことが楽しくなっていました。この研修で、私が自分で考え行動し良きモデルとなるよう努力すること、また部署でよい結果を共有し全体の質や効率を向上していくことが大切であると学びました。

私がこの研修を受け専門職として変化したことは、少しではあるが全体を見渡せるようになったことです。特にDPC期間やそれにむけた退院支援、看護必要度など意識するようになりました。今まで知らなかった制度や報酬のしくみを知ることで視野が拡大されたと実感しました。

今回の研修を通し、知らなかった知識を得たことや、狭かった視野を拡大できたことは私にとって大きな学びでした。まだ身の周りしか視野が広がっておらず限局した範囲でしか行動できていないため、今後は経験を積み、さらに今より広い範囲で活動していきたいと考えています。

男性看護師委員会 活動報告

「俺の提言」～DAN DAN Nurse出動!～

男性看護師委員会　委員長　長谷川　太一

1月25日、研修会を開催しました。シンポジウムでは病棟師長、大学教員、訪問看護ステーション事業部長、認定看護師、看護師歴33年の看護師5名がそれぞれの看護師人生を振り返りながら、その時感じたことなどをもとに「俺の提言」を発表しました。講師の方々は共通してチャンスを活かし、一歩踏み出すことが大切だと語られていました。グループワークでは理想の看護師像、自分の壁について語り、「俺の提言」をまとめていきました。参加者からは様々な立場の考えを聞けて参考になったと感想がありました。また、これほど自分の看護に対する気持ちを表に出したことはなかったという参加者もおり、自身の看護を見つめなおす良い機会となりました。

当委員会は、男性看護師会を経て、特別委員会となり4年目となります。これまで、働き続けられる環境づくりの推進、キャリア開発を図ることを目的に活動してきました。看護職の社会ニーズの高まり、役割拡大とともに男性会員数も令和元年度449名(H25年度の1.7倍)となり、今年度をもって委員会活動を終了することとなりました。

緩和ケア推進委員会 活動報告

「419名の“緩和ケアアドバイザー”の誕生:役割の変化と期待」

緩和ケア推進委員会　委員長　平野　文子

平成14年度から島根県の委託を受けて開始した「緩和ケアアドバイザー養成研修」によって、令和元年度で419名の“緩和ケアアドバイザー”が誕生しました。医療施設や地域において緩和ケアを推進していく看護の中心的役割を担う専門性の高い看護者を養成することを目的とし、緩和ケアを取り巻く状況や患者・家族のニーズの変化に応じて研修内容も見直してきました。そこで、地域ニーズに合わせた緩和ケアを提供できる人材育成のための効果的な研修となっているのか、活動状況等の調査を行わせていただきました。

その結果、アドバイサーは「研修会の企画・運営・講師」等の中心的役割から、「スタッフから相談しやすい身近な存在」となり、CNS・CNの増加によって「チーム介入の必要性のアセスメント・情報提供」をしながら「専門家へ繋ぐ」という役割の変化を認めました。

非がん患者に向けた緩和ケアのあり方や地域包括ケアの推進等、緩和ケアを取り巻く状況が変化していく中で、“緩和ケアアドバイザー”は、多職種それぞれの「専門家へ繋ぐ」という役割を発揮する貴重なリソースとして、益々期待されていくと考えます。今後も緩和ケアの質の向上のために、共に頑張って行きたいと思います。

ナースセンターだより

看護職等の離職時の届出制度をご存じですか？

看護師等の届出サイト
とどけるん

「看護師等の人材確保の促進に関する法律」の改正により2015年10月1日から、離職した看護職がナースセンターに届け出をすることが**努力義務化**されました。

誰が？

*これから退職をする方
（次の仕事が決まっている方も）
*免許取得後すぐに就職しなかった方

届出方法は？

*スマホやパソコンで看護師等の
届出サイト とどけるんから自分で登録
*届出用紙をナースセンターへ送付

どんな支援が受けられるの？

*最新情報の提供
*復職のための技術練習や研修会への参加
*職業紹介

看護管理者の方は、看護師等が病院等を離職される場合には、届出制度のご案内をぜひお願いいたします。

移動ナースバンクをご存じですか？

相談無料　秘密厳守

身近な場所で看護職の「働きたい」をサポートします！

就業相談会（移動ナースバンク）

地域	会場	開催日
松江・安来	ハローワーク松江	毎月第3水曜日
出雲	県立中央病院	毎月第3木曜日
	パルメイト出雲	毎月第2木曜日
雲南	ハローワーク雲南	毎月第2水曜日
大田	ハローワーク石見大田	毎月第4水曜日
浜田・江津	ハローワーク浜田	毎月第2水曜日
益田	ハローワーク益田	毎月第3水曜日

相談員はその地域の看護職
一人一人に寄り添い支援します

就職活動中の方、復職に不安のある方、求人施設の相談にも応じています。

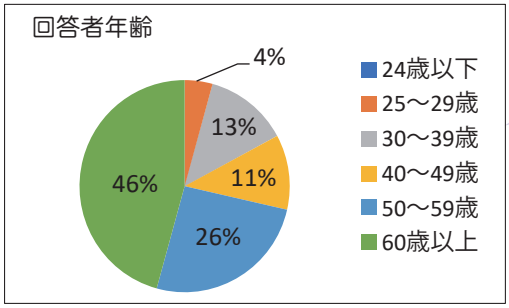
施設見学の時、希望があれば相談員が一緒に同行の支援をします。お子様連れでもOKです。
ぜひ、お近くの会場におこしください。

移動ナースバンク開催時間は

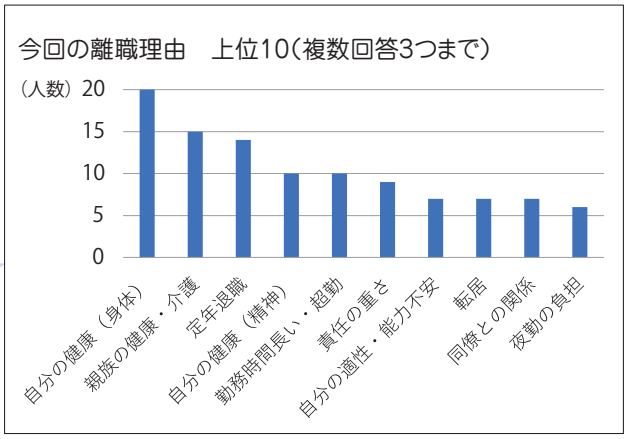
松江会場のみ　14:00～15:30
松江以外の会場は13:00～16:00です
*雇用保険受給者の求職活動に該当します。

2019年度　看護職離職者実態調査（抜粋）

2018年4月～2019年3月に離職時の届出登録をされた看護職161名に調査票を郵送し70名から回答をいただきました。



●回答者の7割が50代以上でした。
⇒豊かな看護の経験を有するプラチナ世代へのセカンドキャリア支援が益々大切になっています。
※プラチナナース：定年退職前後の熟練したスキルをもつ看護職

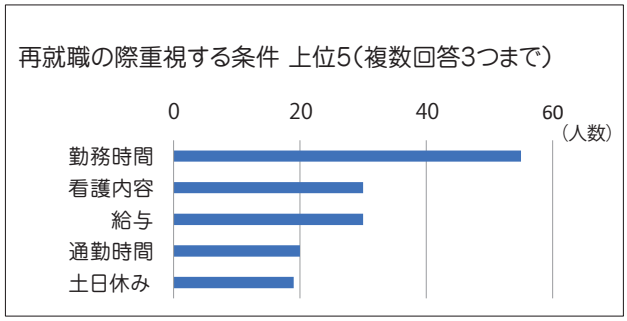


●離職理由に約3人に一人が「自分の健康（身体）」を、7人に一人が「自分の健康（精神）」を挙げています。
また、再就職の際重視する条件は、8割が「勤務時間」、次いで「看護内容」「給与」と回答しています。
⇒看護職が自分自身の健康と安全に配慮し、いきいきと働き続けられるために、ヘルシーワークプレイス（健康で安全な職場）をすすめていきたいですね。

ご意見・ご要望

- 県西部への支援をもっと多くしてほしい
- eナースセンターの取り扱い求人が少ない
- ナースセンターは研修についての支援という役割は知っていたが、離職等の相談窓口としての認識がなかった。相談窓口としての利用の仕方があることをもっとアピールしてほしい。

⇒貴重なご意見に感謝し、皆様のお役に立てるナースセンターを目指します！



2020（令和2）年度
4～9月

ナースセンター研修　受講者募集中

2020年度訪問看護師養成講習会
（訪問看護人材養成基礎カリキュラム）

eラーニング活用により、自宅や職場で何度でも学べます。
集合研修は5月19日～12月23日の7日間と訪問看護実習3日間。

申込締切 4月17日

再就業チャレンジ講習会　申込締切：開催日の1週間前まで

5月25日	「医療看護の動向/スキンケアと褥瘡の予防・ケア」	看護研修センター
6月11日	「フィジカルアセスメント」	出雲パルメイト
7月14日	「現場で必要な医療安全の知識/急変時の対応」	看護研修センター
7月22日	「救護に必要な応急処置」＊救護登録者研修	看護研修センター

技術研修会
申込締切：開催日の4週間前まで

9月7日、8日
「静脈注射」
県立大学出雲キャンパス

※教育計画、ホームページに詳細を載せています。お問い合わせは島根県ナースセンターまで。☎0852-27-8510

研修受講料の改定および研修申込締切日変更についてお知らせ

受講料について消費税率10%への改定およびこれまでの経緯等を鑑み、来年度からは下記のように改定することが理事会において承認されました。

1. 主な研修の受講料（1日当たり）

	変更前	変更後		
会員	3,000円 →	3,300円	受講料 3,000円	消費税額 300円
非会員	6,000円 →	6,600円	受講料 6,000円	消費税額 600円

2. その他の研修の受講料については、別途会員様宛のお知らせをご覧ください。

研修申込締切日の変更

	変更前		変更後
研修会開催日	前月15日	→	前月1日

詳細につきましては各会員様宛のお知らせをご覧ください。

お知らせ INFORMATION

令和2年度島根県看護協会通常総会

日　時:令和2年6月6日(土)9:45～15:00
会　場:男女共同参画センターあすてらす
特別講演:講師　斉藤訓子氏　日本看護協会副会長

令和2年度日本看護協会通常総会

日　時:令和2年6月11日(木)10:00～17:00
会　場:マリンメッセ福岡(福岡県)

令和2年度全国職能別交流集会

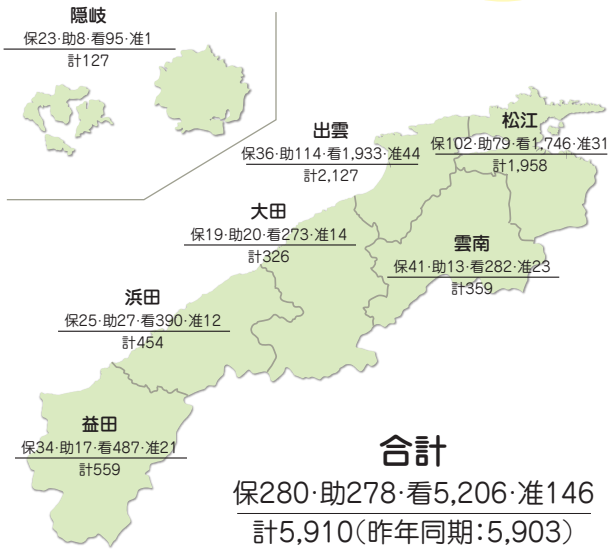
日　時:令和2年6月12日(金)
　　9:30～17:00　四職能合同
　　13:00～16:00　各職能集会
会　場:マリンメッセ福岡、福岡国際会議場

看護の日記念のつどい・Nursing Nowキャンペーンのお知らせ

令和2年5月16日(土)くにびきメッセで開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のために急遽中止になりました。

支部別・職能別会員数(合計)

(令和元年2月23日現在)



合計
保280·助278·看5,206·准146
計5,910(昨年同期:5,903)

編集後記

暖かな春の日差しに包まれて、心和む季節となりました。キラキラと輝く新人看護職員を迎えて、一緒に新年度の目標に向けて頑張っていきましょう。

広報委員会は、ますます皆様のお役に立てるような情報をお届けできるよう、今後も努めてまいります。

【発行日】令和2年3月25日　【発行責任者】秦　美恵子　【編　集】公益社団法人島根県看護協会
〒690-0049　松江市袖師町7-11　TEL.0852-25-0330　FAX.0852-25-3157
https://www.shimane-kango.or.jp　E-mail:shimakk@carrot.ocn.ne.jp